



コアテクノロジープロバイダのゼッタテクノロジー株式会社  
電子帳票開発ツール「Adam-Entry」が  
厚生労働省 電子申請・届出システムに採用

報道関係各位

2003年4月30日  
ゼッタテクノロジー株式会社

コアテクノロジープロバイダのゼッタテクノロジー株式会社(本社所在地:東京都千代田区神田淡路町、代表取締役社長 松尾勝弘)は、平成15年3月24日より稼働した厚生労働省の電子申請・届出システムの電子帳票ソフトウェアとして、同社の電子帳票開発ツール「Adam-Entry」が採用されたことを発表しました。

厚生労働省 電子申請・届出システムは、“e-Japan 構想”の下に策定された、「厚生労働省の行政手続等の電子化推進アクション・プラン」に基づき開発された、申請・届出等手続のオンライン化を行うシステムで、平成15年3月24日より正式に運用開始されました。

この電子申請・届出システムでは、厚生労働省本省や、地方厚生局、都道府県労働局、労働基準監督署、公共職業安定所、社会保険事務所などに対する申請・届出等手続きのうち、平成14年度に1,965手続きのうち410手続きが、平成15年度では残りの手続きのうち1,486手続きについて、従来の書面による手続きに加えてインターネットを使ったオンラインによる申請が可能となる予定で、これにより、将来365日24時間、自宅や会社から場所・時間の制約なく利用することができ国民の利便性向上と行政手続の効率化が実現されます。

ゼッタテクノロジーの電子帳票開発ツール「Adam-Entry」は、この電子申請・届出システムの電子帳票ソフトウェアとして採用され、申請者である国民・企業のみならず、審査を行う厚生労働省本省及び厚生労働省所管の各局の職員に利用されることとなります。

この電子帳票開発ツール「Adam-Entry」は、紙の帳票のイメージ・使い勝手を損なうことなく容易に電子帳票化することが可能で、さらにWord/Excel/PDFといった他の電子フォーマットやスキャナから既存の帳票を読み込み、自動的に「Adam-Entry」形式の電子帳票へと変換が行える為、他の電子帳票(電子フォーム)ツールと比べ、高品質かつ、非常に高い生産性を提供するものです。

また、純国産ツールであり、中央省庁のシステムへの採用実績もある「Adam-Entry」は、海外製品が不得意とする、縦書き文章や豊富な罫線表現をサポートしております。

これらの特徴/機能優位性により、“e-Japan 構想”に基づく電子政府・電子自治体実現にあたり、非常に多くの既存の紙帳票を電子化する際の大きなコスト的、スケジュール的な課題を解決する最適な電子帳票開発ツールとして、厚生労働省 電子申請・届出システムに採用され、今回システムインテグレータとして開発を行った日本ユニシス株式会社と共同で、ツールの更なる最適化を図ってまいりました。



電子帳票開発ツール「Adam-Entry」は、以下のような特徴を持ちます。

- 紙帳票と同様のイメージのまま電子帳票化可能な為、見た目・使い勝手が変わらず、利用者にとってわかりやすく、また、印刷結果も紙帳票と同様に扱うことができます。
- 電子帳票のデータは XML 形式で入出力することが可能な為、XML データが必須条件である電子政府・電子自治体や、企業の情報システム等に即適用可能です。
- XML データの設計が電子帳票の設計と連動して行うことが可能な為、複雑になりがちなシステム設計・開発を簡略化することができます。
- 電子帳票の各項目には多彩なデータチェック機能、入力支援機能、スクリプトによる項目間データ連携などが行えますので、利用者にやさしい電子帳票が作成できるだけでなく、電子帳票とシステム間の処理が分離可能な為、電子帳票の変更等が容易に行えます。
- 電子帳票印刷ツール「Adam-Writer」と組み合わせることにより、「Adam-Entry」の電子帳票を高速・大量に印刷することが可能ですので、従来のように入力用と出力用に別々の帳票を開発する必要がありません。
- Word/Excel/PDF といった様々な電子ファイルで作成された帳票をワンタッチで「Adam-Entry」形式の高機能な電子帳票へ変換することが出来ます。また、圧倒的多数を占める紙の帳票をスキャナで読み取り、OCR 処理することで「Adam-Entry」の電子帳票へ変換するオプション機能を提供しており、両者を併せると既存の帳票資産のほとんどを容易に電子帳票化することが可能となります。
- 「Adam-Entry」の電子帳票は、HTML 形式、PDF フォーム形式、XML スタイルシート形式 (XSLT) 等、様々なフォーマットへ自由に変換が可能な為、様々なシステムへ柔軟に組み込んで利用することが可能です。

今後ゼッタテクノロジーは、電子政府・電子自治体マーケットを中心にシステムインテグレート事業を行うアライアンスパートナー企業等に向け「Adam-Entry」を始めとした、超高速データ処理製品群「Adam family」の拡販を進めることにより、平成 15 年度 7 億円、平成 16 年度 25 億円の販売を目標とし、より充実し利便性の高い e-Japan 構想の早期実現に貢献してまいります。

#### 【Adam-Entry 導入実績】

- 厚生労働省 電子申請・届出システム 他中央省庁電子申告・申請システム
- 北九州市 電子申請・届出システム 他地方自治体電子申請・届出システム
- 大手 Sier 取引文書管理・稟議決済システム

#### 【今後の Adam-Entry 取組み予定】

- 電子政府・電子自治体市場
- ワークフロー/稟議決済等申請システム

**■ゼッタテクノロジーの特長**

ゼッタテクノロジーは、官公庁を中心に、民間の中堅・大企業に向けてシステムインテグレーション事業を展開している企業です。超高速多次元集計システム「Adam-Report」を中心に、データの入力や収集、集計、統計分析、出力に至るまでトータルなソリューションを実現する「Adam family」という製品群を独自開発し、システムインテグレータとのアライアンスビジネスを行い、官公庁、民間における情報化に貢献している企業です。

**■ゼッタテクノロジー株式会社(旧社名:株式会社ディアイエス)について**

住 所 : 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-4-1 友泉淡路町ビル

代 表 者 : 代表取締役社長 松尾 勝弘(まつお かつひろ)

設 立 : 1981年(昭和56年)12月16日

業務内容 : ・コアテクノロジーの研究開発

多次元集計データベース、クロス集計レポーティングシステム、入出力システム開発  
支援ツール、電子報告業務管理システム、リモートコントロールテクノロジー、全文検索テクノロジー

・ソリューションビジネス

[公共事業] 官公庁・自治体における各種システム受託開発、アライアンスによるシステムインテグレーション、電子政府・電子自体関連システム/保険業務電子化関連システム/電子医療関連システムに対する各ソリューション

[民間事業] 業界・業種別業務システムに対するソリューション、コアテクノロジーのOEM提供

[教育事業] 情報教育関連システム、生涯学習関連システム、インターネットを使った通信教育システムに対する各ソリューション

U R L : <http://www.zetta.co.jp/>

**本件に関するお問い合わせ**

ゼッタテクノロジー株式会社

e-Japan本部 広報担当:稲葉

住所:東京都千代田区神田淡路町 1-4-1 電話:03-5209-6565 Fax:03-5209-6566

mail: [e-japan@zetta.co.jp](mailto:e-japan@zetta.co.jp)